

会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和7年8月27日（水）午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	☒ 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	別紙のとおり
会議結果	
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	
提出資料	
その他	

令和 7 年度第 3 回食育推進会議次第

日 時 令和 7 年 8 月 2 7 日（水）午後 2 時から

場 所 小金井市保健センター 1 階 大会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 第 5 次小金井市食育推進計画に係る市民アンケート（案）について
- (2) 第 5 次小金井市食育推進計画に係る小中学生アンケート（案）について
- (3) 進捗状況調査結果について
- (4) 小金井市食育ホームページについて

3 その他

4 閉 会

小金井市食育推進会議委員名簿

令和 7 年 8 月 2 7 日

No.	選出区分	氏 名
● 市民（4 人）		
1	公募市民	まきの 牧野 まや
2	公募市民	おおた あつたね 太田 篤胤
3	公募市民	みけ あきと 三毛 明人
4	公募市民	よこやま えりこ 横山 英吏子
5		
● 学識経験者（2 人）		
6	実践女子大学生生活科学部食生活科学科准教授	やまぎし ひろみ 山岸 博美
7	野菜料理研究家	まつしま 松嶋 あおい
● 関係機関の役員又は職員（7 人）		
8	小金井市立東小学校栄養教諭	ふるしやう ゆうこ 古 莊 優子
9	小金井市立小中学校 P T A 連 合 会	きたわき りえ 北 脇 理恵
1 0	小金井市社会福祉協議会	なかむら いちろう 中 村 一 郎
1 1	東京都小金井歯科医師会	さかもと まさあき 坂 元 雅明
1 2	小金井市農業振興連合会	おおほり ゆうき 大 堀 雄紀
1 3	東京むさし農業協同組合小金井支店	おおいし かずたか 大 石 和孝
1 4	小金井市商工会	ふじさわ ひろし 藤 澤 弘
● 関係行政機関の職員（1 人）		
1 5	東京都多摩府中保健所	やまだ さつき 山 田 五 月
● 市の職員		
1 6	小金井市福祉保健部長	たかはし まさえ 高 橋 正 恵

小金井市民の食育に関するアンケート調査 ご協力をお願い

小金井市は平成20年6月に小金井市食育推進計画を策定し、「野菜」「団らん」「ふれあい」「環境」をキーワードとする「小金井らしい食生活」のあるひとづくり・まちづくりを“Koganei-Style”として、展開してきました。

本計画では、「食育とは、食に関する健全で豊かなライフスタイルを自ら選び、実践する力を育てること」と定義し、市民ひとりひとりが、健康的で心豊かな食生活の実現ができるよう、市民・生産者・事業者・各種団体等が、連携し、協働することによって推進しています。

現在の計画は令和8年度が最終年度となるため、令和9年3月までに「第5次小金井市食育推進計画」の策定を目指しています。

この度、平成28年度、令和2年度に続き、小金井市民の食への意識を明らかにし、食育のあり方を検討するための調査を実施することになりました。この調査で皆さまの栄養や食育に関する意識や考え方、食習慣についての実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、食育事業の推進や計画改定に反映していきたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、令和7年〇月〇日を基準日として、市内にお住まいの満18歳以上の方2,000人を無作為抽出して、調査票をお送りしています。

ご記入いただいた内容について、個人の情報が公表されることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

令和7年〇月

小金井市

〈ご回答にあたって〉

- 封筒に記載されている宛名の方がご回答ください。
- 回答方法は「①アンケート用紙で回答」と「②Webで回答」があります。
どちらか一方の方法で回答してください。
- 設問は□□問程度あります。回答にかかる時間は、約□分です。
- 回答いただいた調査内容は、市の食育に関する施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容が他に漏れたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。
- 回答したくない質問には、回答いただく必要はございません。
- 令和7年△月△日（△）までにアンケート用紙のご返送もしくはWebでのご回答をお願いいたします。

①アンケート用紙で回答

1. 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
2. 回答は、選択肢に○をつけてお答えいただく場合と、数字等を記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
4. 調査票の記入が済みましたら、同封の茶色の返信用封筒にいれて、郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）

②Webで回答

Webでご回答する方は、パソコン、タブレット、スマートフォンなどで下記のURLか、二次元コードから回答画面にアクセスし、IDを入力の上画面の指示に従って回答してください。

 https://sample_sample_sample



二次元コード

二次元

※重複回答確認のための番号であり、個人を特定するためのものではありません。

〈この調査に関するお問い合わせ先〉

小金井市 福祉保健部 健康課
042-321-1240

あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. そのほか
-------	-------	---------

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	1
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	---

問2 アンケートに答えてくださるあなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 18～19歳	2. 20歳代	3. 30歳代
4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳以上		

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	2
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	---

問3 あなたの現在の家族構成はどのようになっていますか。(○は1つ)

1. 一人暮らし	2. 配偶者のみ
3. 親と子(2世帯)	4. 祖父母と親と子(3世帯)
5. その他()	

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	3
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	---

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 自営業
2. 正規雇用（正社員など）
3. 非正規雇用（契約社員、嘱託社員、パート、アルバイトなど）
4. 家事専業
5. 学生
6. 無職
7. その他（ ）

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	4 新
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-----

問5 あなたは毎年健康診断を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	6
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	---

問6 あなたは定期的に歯科検診を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	7
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	---

問7 新型コロナウイルス感染症の流行前と現在を比較して、食生活に変化はありましたか。
(①～⑪それぞれに○は1つ)

	コロナ流行後 増えた	コロナ流行後も 変わらない	コロナ流行後 減った
①一人で食事をする	1	2	3
②家族と一緒に食事をする	1	2	3
③自炊をする	1	2	3
④自宅で食事をする (レトルト・総菜・テイクアウト)	1	2	3
⑤飲食店で食事をする	1	2	3
⑥宅配を利用する	1	2	3
⑦近くの店で買い物をする	1	2	3
⑧買い物の購入量を増やして備蓄する	1	2	3
⑨規則正しい時間に食事をする	1	2	3
⑩間食をする	1	2	3
⑪飲酒をする	1	2	3

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	8
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	---

問8-1 あなたが食生活で不安に思っていることはありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ → 【問9-1へ】
-------	------------------

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	9-1
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-----

【問8-1で「1」と答えた方に伺います】

問8-2 食生活で不安に思っていることをこちらの自由記述欄にご記入ください。

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	9-2
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-----

【全員に伺います】

問9-1 あなたは食物アレルギーがありますか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ → 【問10-1へ】

国目標

都調査

本市の
指標

第1回審議会時
の調査番号

10-1

【問9-1で「1」と答えた方に伺います】

問9-2 該当するアレルギーを教えてください。(○はいくつでも)

(1～13に当てはまらない場合は、14. その他に食品名をご記入ください。)

1. えび

2. かに

3. ナッツ類 (くるみ、アーモンド、カシューナッツ)

4. 小麦・小麦粉製品

5. そば

6. 卵

7. 乳

8. 落花生

9. ごま

10. くだもの

11. 魚介・魚卵

12. 大豆・大豆製品

13. 肉類

14. その他 (

)

国目標

都調査

本市の
指標

第1回審議会時
の調査番号

10-2

【問9-1で「1」と答えた方に伺います】

問9-3 食物アレルギーがあることでお困りのことは、ありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

国目標

都調査

本市の
指標

第1回審議会時
の調査番号

10-3

【問9-3で「1」と答えた方に伺います】

問9-4 食物アレルギーでお困りのことをこちらの自由記述欄にご記入ください。

国目標

都調査

本市の
指標

第1回審議会時
の調査番号

10-4

「食育」への関心についておたずねします。

問 10-1 あなたは、「食育」(※)という言葉やその意味を知っていますか。(○は1つ)

※「食育」とは、生きる上での基本であり、知育・徳育及び体育の基礎となるもので、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

1. 言葉も聞いたことがあり、意味も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
3. 言葉も聞いたことがないし、意味も知らない → 【問 10-4 へ】

国目標		都調査	○⑱	本市の指標	指標 1	第 1 回審議会時の調査番号	11-2
-----	--	-----	----	-------	------	----------------	------

【問 10-1 で「1」～「2」と答えた方に伺います】

問 10-2 日ごろから「食育」に関する活動や行動をしていますか。(○は1つ)

1. 積極的にしている
2. するようにしている
3. あまりしていない
4. したいと思っているが実際にはしていない
5. したいとは思わないし、していない

国目標		都調査	○⑳	本市の指標		第 1 回審議会時の調査番号	11-4 新
-----	--	-----	----	-------	--	----------------	--------

【問 10-2 で「1」～「2」と答えた方に伺います】

問 10-3 「食育」に関する活動や行動内容をこちらの自由記述欄にご記入ください。

国目標		都調査		本市の指標		第 1 回審議会時の調査番号	11-5 新
-----	--	-----	--	-------	--	----------------	--------

【全員に伺います】

問 10-4 平成 17 年に定められた食育基本法では毎月 19 日は食育の日、毎年 6 月は食育月間と決められていることを知っていますか。(○は 1 つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. どちらも知っている | 2. 食育の日だけ知っている |
| 3. 食育月間だけ知っている | 4. 両方とも知らない |

国目標		都調査		本市の指標		第 1 回審議会時の調査番号	11-3
-----	--	-----	--	-------	--	----------------	------

問 11-1 あなたが参加したことのある小金井市の食育のイベントや、あなたが行ったことがある食育に関する取組みは何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 小金井市食育ホームページの閲覧 |
| 2. 食育ミニパンフレット等の食育に関するチラシの取得 |
| 3. 保健センターで実施された食育に関する教室、実習、相談 |
| 4. 保健センター以外の市内公共施設（公民館等）で実施された食育に関する教室、実習、相談 |
| 5. 保育所・幼稚園・小学校・中学校で実施された食育に関する教室、実習、相談 |
| 6. 市内農業体験等の参加 |
| 7. 産業祭等市内の食に関するイベントの参加 |
| 8. 食品廃棄物のリサイクル等の取組 |
| 9. 参加したことはない |
| 10. 行っていることを知らない |
| 11. その他 （ ） |

国目標		都調査		本市の指標		第 1 回審議会時の調査番号	12-2
-----	--	-----	--	-------	--	----------------	------

問 11-2 あなたはどのような食育活動に参加してみたいと思いますか。(○は 3 つまで)

- | |
|-----------------------|
| 1. 生活習慣病予防などのための料理教室 |
| 2. 食生活の知識普及に関する活動 |
| 3. 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動 |
| 4. 食品の安全や表示に関する活動 |
| 5. 食品ロスや食品リサイクルに関する活動 |
| 6. 農林漁業などに関する体験活動 |
| 7. 食育に関する国際交流活動 |
| 8. その他 （ ） |
| 9. 特にない |

国目標		都調査		本市の指標		第 1 回審議会時の調査番号	12-3
-----	--	-----	--	-------	--	----------------	------

現在の食生活・生活習慣についておたずねします。

問 12-1 あなたは普段朝食を食べますか。(○は1つ)

1. 食べる

2. 食べない→【問 13-1 へ】

国目標	○⑤	都調査	○①	本市の 指標	指標 2	第1回審議会時 の調査番号	13- 1
-----	----	-----	----	-----------	------	------------------	-------

【問 12-1 で「1」と答えた方に伺います】

問 12-2 あなたは、朝食で主食に何をよく食べますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ごはん | 2. 食パン・ロールパン |
| 3. 菓子パン・調理パン | 4. めん類 |
| 5. シリアル | 6. その他 () |
| 7. 主食は食べない | |

国目標	△⑨⑩	都調査	△①-1	本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	14- 2
-----	-----	-----	------	-----------	--	------------------	-------

【問 12-1 で「1」と答えた方に伺います】

問 12-3 あなたは、朝食で主食以外に主に何をよく食べますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 魚・魚肉製品 | 2. 肉（ハム、ウィンナー等） |
| 3. 卵（オムレツ、卵焼き等） | 4. 牛乳・乳製品（ヨーグルト、チーズ等） |
| 5. 豆製品（納豆、豆腐、豆乳等） | 6. 野菜料理 |
| 7. 汁物（味噌汁、スープ等） | 8. 果物 |
| 9. その他 () | |
| 10. 主食以外あまり食べない | |

国目標	△⑨⑩	都調査	△①-1	本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	14- 3
-----	-----	-----	------	-----------	--	------------------	-------

【問 12-1 で「2」と答えた方に伺います】

問 13-1 あなたが朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

1. 時間がないから	2. 食欲がわからないから
3. 朝食を食べるより寝ていたいから	4. 減量（ダイエット）をしているから
5. 朝食が用意されていないから	6. 以前から食べる習慣がないから
7. 食べたり準備するのが面倒だから	8. 食べなくても体調が悪くないから
9. 食べなくても何も困ってないから	
10. その他 (	)

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	13-2
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	------

【問 12-1 で「2」と答えた方に伺います】

問 13-2 あなたはいつ頃から朝食を食べなくなりましたか。(○は1つ)

1. 幼年期（0-4 歳）	2. 少年期（5-14 歳）	3. 青年期（15-24 歳）
4. 壮年期（25-44 歳）	5. 中年期（45-64 歳）	6. 高年期（65 歳以上）
7. 覚えていない		

国目標	△⑨⑩	都調査	△①-2	本市の指標		第1回審議会時の調査番号	14-4
-----	-----	-----	------	-------	--	--------------	------

【全員に伺います】

問 14 あなたは次の各々の項目について、できていますか。

また、できていない場合、改善したいと思いませんか。

(①～⑱それぞれに○は1つ)

	できている	改善したい	改善するつもりはない
①栄養バランスのとれた食事 (主食・主菜・副菜)をする	1	2	3
②1食につき副菜(野菜類)を 1～2皿(70g～140g)食べる	1	2	3
③塩分を摂りすぎないようにする(減塩)	1	2	3
④適正体重を維持する	1	2	3
⑤牛乳・乳製品を毎日 200g 程度摂る (※牛乳1杯＝約 200g)	1	2	3
⑥果物を毎日 200g 程度食べる (※100g の目安：キウイ 1 個、バナナ 1 本、みかん 1 つ、 りんご・なし 1/2 個)	1	2	3
⑦食事時間を規則正しくする	1	2	3
⑧水分補給は、水かお茶(無糖)にする	1	2	3
⑨自炊をする(食事はできるだけ手作りする)	1	2	3
⑩食事はよく噛んでゆっくり食べる	1	2	3
⑪食事を「噛む」、「飲み込む」が問題なくできる	1	2	3
⑫食品ロスを少なくするような食事作りをする	1	2	3
⑬小金井市産の野菜を用いて作る	1	2	3
⑭食後には、歯をみがく	1	2	3
⑮適度な運動を心がけている	1	2	3
⑯魚や大豆製品を積極的に食べる	1	2	3
⑰間食(甘いお菓子やスナック菓子など)を控える	1	2	3
⑱お酒を減らす	1	2	3
⑲食事のマナーに気を付けている	1	2	3

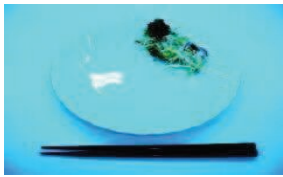
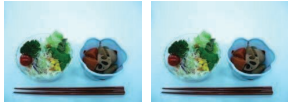
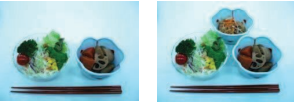
国目標	枝番③・④ →△④ 枝番⑥ →○③ 枝番⑩ →○⑤ 枝番⑫ →△②⑩	都調査	枝番⑫ →○⑫-3	本市の 指標	枝番① →指標 4 枝番⑫ →指標 7	第 1 回審議会時 の調査番号	15
-----	---	-----	--------------	-----------	------------------------------	--------------------	----

問 15 あなたは、普段の食事において1日で野菜をどれくらい食べますか。
(例を参考に○は1つ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ほとんど食べない | 2. 付け合わせ程度 (30g) |
| 3. 小鉢1皿程度 (70g 程度) | 4. 小鉢2皿程度 (140g 程度) |
| 5. 小鉢3皿程度 (210g 程度) | 6. 小鉢4皿程度 (280g 程度) |
| 7. 小鉢5皿程度 (350g 程度) | |

国目標	○⑫	都調査		本市の 指標	指標5 (新)	第1回審議会時 の調査番号	16
-----	----	-----	--	-----------	------------	------------------	----

(例)

付け合わせ程度 (30g)		小鉢1皿程度 (70g 程度)	
小鉢2皿程度 (140g 程度)		小鉢3皿程度 (210g 程度)	
小鉢4皿程度 (280g 程度)		小鉢5皿程度 (350g 程度)	

問 16-1 あなたが小金井市内で採れた野菜を買うことはありますか。(○は1つ)

1. いつも買う	2. 時々買う
3. たまに買う	4. ほとんど買わない
5. 全く買わない	6. 販売されていることを知らない

国目標		都調査		本市の 指標	指標 6	第1回審議会時 の調査番号	18- 1
-----	--	-----	--	-----------	------	------------------	-------

問 16-2 あなたがふだん野菜を買う時に配慮していることはありますか。
(○はいくつでも)

1. 鮮度	2. 無農薬・減農薬のもの
3. 価格	4. 季節のもの
5. 産地	6. 扱いやすいもの(洗うだけで使える等)
7. その他 (	)
8. 特に配慮していない	

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	18- 2
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-------

問 16-3 あなたは野菜を栽培したことはありますか。(○は1つ)

1. よくある	2. たまにある	3. ほとんどない	4. 全くない
---------	----------	-----------	---------

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	18- 3
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-------

問 16-4 あなたは野菜や果物の生産地に出向いて収穫したことがありますか。
(○は1つ)

1. よくある	2. たまにある	3. ほとんどない	4. 全くない
---------	----------	-----------	---------

国目標	○⑰	都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	18- 4
-----	----	-----	--	-----------	--	------------------	-------

問 17 あなたは、食品ロス削減につながる行動をしていますか。(○はいくつでも)

1. 買い物をする時に必要な量だけ購入する
2. 見切り品や値引き品を購入する
3. 買い物をする時は手前取りを行っている
4. 賞味期限を正しく理解し捨てずに食べられるかどうかの判断をしている
5. 無駄なく使いきるよう工夫して調理している
6. 宴会場などではできるだけ料理を食べるようにしている
7. 外食で食べきれなかった食品はできるだけ持ち帰る
8. 家庭で余っている食べ物を持ち寄り、福祉団体や施設などへ寄付する(フードドライブ)
9. 食品ロス削減推進協力店・事業所で買い物や食事をしている
10. 食品ロス削減マッチングサービスのアプリ(小金井カメすけ)を利用している
11. 特にしていない
12. その他 ()

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	19- 1
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-------

問 18 あなたは、過去1年の間に、フードドライブ(※)等による食品の無料配布を受け取ったことがありますか。(○は1つ)

※「フードドライブ」とは、ご家庭で余っている食品を回収し、市内外の食に困っている方及び援助団体などにお届けする取組をいいます。

1. 利用したことがある 2. 利用したことがない 3. 取組を知らない

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	追加
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	----

問 19 あなたは、どのくらい家族と一緒に食事をしていますか。

(①～②それぞれに○は1つ)

	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんどしていない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4

国目標	○②	都調査	△②-1 ア 朝食 イ 夕食	本市の 指標		第1回審議会時の 調査番号	22
-----	----	-----	----------------------	-----------	--	------------------	----

問 20-1 あなたは、家族で外出することがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週4～5回程度 | 3. 週2～3回程度 |
| 4. 週1回程度 | 5. 月1回程度 | 6. 外出しない |

【問 21 へ】

国目標		都調査	△②-5	本市の 指標		第1回審議会時の 調査番号	27-1
-----	--	-----	------	-----------	--	------------------	------

【問 20-1 で「1」～「5」と答えた方に伺います】

問 20-2 あなたが外出をする時、何に重点をおいて選んでいますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. その時食べたいもの | 2. 主食（ごはん、めん、パンで決める） |
| 3. メニューで決める（すし、焼き肉等） | 4. お店の評判 |
| 5. 価格や量 | 6. 行きつけ |
| 7. 栄養や安全性 | 8. 食文化（中華、イタリアン等） |
| 9. 特にない | 10. その他（ ） |

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時の 調査番号	27-2
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	------

【全員に伺います】

問 21 あなたは、家族以外の誰か（友人や職場の同僚等）と一緒に食事をする機会について、どのように思っていますか。

また、家族以外の人と一緒に食事する頻度についてもお答えください。

（①～②それぞれに○は1つ）

①参加意向	1. 一緒に食事をしたいと思っていて、参加もしている 2. 一緒に食事をしたいと思っているが、参加していない 3. 一緒に食事をする機会はいらない 4. その他（ ）		
②食事頻度	1. ほとんど毎日 4. 月に数日	2. 週に4～5日程度 5. 全くしない	3. 週に2～3日程度

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	追加
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	----

問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、こども食堂（※）を利用したことがありますか。（○は1つ）

※「こども食堂」とは、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する場をいいます。

1. 利用したことがある	2. 利用したことがない	3. こども食堂を知らない
--------------	--------------	---------------

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	追加
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	----

問 23-1 あなたは、夕食に中食（調理済み食品：弁当、総菜など）をどのくらいの頻度で利用しますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4～5日程度 | 3. 週に2～3日程度 |
| 4. 月に数日 | 5. ほとんど利用しない | 6. わからない |

【問 24 へ】

国目標		都調査	○④	本市の指標		第1回審議会時の調査番号	26-1
-----	--	-----	----	-------	--	--------------	------

【問 23-1 で、「1」～「4」と答えた方に伺います】

問 23-2 中食（調理済み食品：弁当、総菜など）を利用する理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 時間がない時
2. 作るのが面倒な時
3. 何を作るか思いつかない時
4. 食材の買い物から考えるのが大変だから
5. 怪我や病気で作れないから
6. 食べたい中食があるから
7. 自分では技術がなくて作れない調理品だから
8. 家庭の台所の設備では作れない調理品だから
9. 家族に乳幼児や介護の必要な人がいるため
10. その他 （ ）

国目標		都調査	○④-1	本市の指標		第1回審議会時の調査番号	26-2
-----	--	-----	------	-------	--	--------------	------

【全員に伺います】

問 24 あなたは間食（夜食を含む）をすることはありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. ほとんどない | | |

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	23
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	----

問 25 あなたの世帯では、非常食の食料は、世帯人数分として何日分を想定して用意していますか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. 1日分未満 | 2. 1～2日分程度 | 3. 3日程度 |
| 4. 4日分以上 | 5. 全く用意していない | |

国目標		都調査		本市の指標		第1回審議会時の調査番号	追加
-----	--	-----	--	-------	--	--------------	----

問 26-1 あなたは、以下の行事食を食べますか。
 食べるものを全て選んでください。(○はいくつでも)

1. おせち料理	2. お雑煮
3. 七草がゆ	4. 鏡開き
5. 節分(恵方巻、大豆、いわしなど)	6. ひな祭り(五目ずしなど)
7. 春分の日(ぼたもちなど)	8. 端午の節句(ちまきなど)
9. 七夕(そうめんなど)	10. 土用の丑の日(ウナギなど)
11. 十五夜(お月見団子)	12. 秋分の日(おはぎなど)
13. ハロウィン(かぼちゃを使った料理など)	14. 冬至(かぼちゃを使った料理など)
15. クリスマス(チキン、ケーキなど)	16. 大晦日(年越しそばなど)
17. その他 ()	
18. 行事食は食べない	

国目標		都調査	○⑫	本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	28- 1
-----	--	-----	----	-----------	--	------------------	-------

問 26-2 あなたは、以下の行事食を手作りしますか。
※買ってきて食べるのではなく、家庭で作るもののみご回答ください。
 (○はいくつでも)

1. おせち料理	2. お雑煮
3. 七草がゆ	4. 鏡開き
5. 節分(恵方巻、大豆、いわしなど)	6. ひな祭り(五目ずしなど)
7. 春分の日(ぼたもちなど)	8. 端午の節句(ちまきなど)
9. 七夕(そうめんなど)	10. 土用の丑の日(ウナギなど)
11. 十五夜(お月見団子)	12. 秋分の日(おはぎなど)
13. ハロウィン(かぼちゃを使った料理など)	14. 冬至(かぼちゃを使った料理など)
15. クリスマス(チキン、ケーキなど)	16. 大晦日(年越しそばなど)
17. その他 ()	
18. 行事食の手作りはしない	

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	28- 2
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	-------

問 27 あなたが食事について、重要視することは何ですか。(○は3つまで)

1. その時に何を食いたい(家庭の意向も含む)
2. 短時間に調理出来ること
3. 空腹を満たせば何でも良い
4. 和食や洋食など献立を統一する(食文化を統一)
5. 栄養バランスのとれた献立
6. 食品の安全性
7. 価格
8. 季節感
9. 特にない
10. その他 ()

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	29
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	----

問 28 あなたが食品を購入する時、商品を選択するポイントは何ですか。
(○はいくつでも)

※食品→生鮮食品、中食(調理済み食品)、加工食品を含む。

1. 価格
2. 消費期限や賞味期限
3. 内容量
4. 原産国や生産地
5. 原材料名
6. 栄養成分表示(カロリーなど)
7. 食品添加物表示
8. 遺伝子組み換え表示
9. アレルギー(特定原材料)の表示
10. 特にない
11. その他 ()

国目標		都調査	△⑥	本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	30
-----	--	-----	----	-----------	--	------------------	----

問 29 あなたは食事をつくるとき（レシピなどの情報を）、何から得ていますか。
（○はいくつでも）

1. テレビ番組	2. 雑誌・料理本
3. インターネット・SNS	4. 親・親戚からの情報
5. 友人からの情報	6. 特に情報は得ていない
7. その他（	）

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	31
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	----

問 30 あなたは食と健康に関する知識を何から得ていますか。（○はいくつでも）

1. テレビ番組	2. 雑誌・料理本
3. インターネット・SNS	4. 官公庁ホームページ
5. 国公立の施設のホームページ	6. 企業のホームページ
7. 親・親戚からの情報	8. 友人からの情報
9. 特に情報は得ていない	
10. その他（	）

国目標		都調査		本市の 指標		第1回審議会時 の調査番号	32
-----	--	-----	--	-----------	--	------------------	----

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

小中学生対象 食育に関するアンケート

資料 3

質問項目について、あてはまるものに○をつけてください。
 その他を選んだ場合は、() 内に記入してください。

No.	調査項目	選択肢
1	学校を選んでください。(○は1つ)	① 小学校 ② 中学校1年生 ③ 中学校2年生
2	あなたの性別を選んでください。(○は1つ)	① 男 ② 女 ③ そのほか
3	(1)ふだん、朝ごはんを食べていますか。 (○は1つ)	① ほとんど毎日食べる ② 週4～5日食べる ③ 週2～3日食べる ④ ほとんど食べない
	(2)上の質問で、②～④を選んだ方の 食べない理由は何ですか。(○はいくつでも)	① 時間がない ② 食欲がわかない ③ 朝食を食べるより寝ていたい ④ 体重を減らす(ダイエット)ため ⑤ 朝食の用意がされていない ⑥ 自分で用意するのがめんどろ ⑦ その他()
4	朝ごはん ^{せいはん} で主食に何をよく食べますか。(○は3つ まで) ※主食…お米、パン、めん類など	① お米 ② 食パン・ロールパン ③ 菓子パン・調理パン ④ めん類(うどん等) ⑤ シリアル ⑥ その他() ⑦ 主食は食べない
5	朝ごはん ^{せいはん} で主食以外に何をよく食べますか。(○は いくつでも)	① 魚・魚 ^{ぎょ} 肉製品(かまぼこ等) ② 肉(ハム、ウィンナー等) ③ 卵(オムレツ、卵 ^{たまご} 焼き等) ④ 牛乳・乳製品(ヨーグルト、チーズ等) ⑤ 豆製品(納豆、豆腐、豆乳等) ⑥ 野菜料理 ⑦ 汁物(味噌汁、スープ等) ⑧ くだもの ⑨ その他() ⑩ 主食以外はあまり食べない
6	ふだん、家では家族といっしょに朝ごはん ^{せいはん} を食べて いますか。(○は1つ)	① 家族といっしょに食べることが多い ② たまに一人で食べる ③ 一人で食べる人が多い
7	ふだん、家では家族といっしょに夕ごはん ^{ゆがはん} を食べて いますか。(○は1つ)	① 家族といっしょに食べる人が多い ② たまに一人で食べる ③ 一人で食べる人が多い
8	ふだん夕ごはん ^{ゆがはん} は何時ですか。(○は1つ)	① 午後5時台 ② 午後6時台 ③ 午後7時台 ④ 午後8時台 ⑤ 午後9時台 ⑥ 午後10時台 ⑦ 午後11時台 ⑧ 午後12時以降
9	家で食事の準備、料理、後片付けを手伝いますか。 (○は1つ)	① よくする ② ときどきする ③ あまりしない ④ 全くしない
10	家での食事は残さず食べますか。(○は1つ) ※大皿で食事が出る場合は、大体1人分の食事を食べますか。	① いつも残さず食べる ② だいたい残さず食べる ③ 残すことが多い

11	(1)平日に、1日で主食と主菜と副菜のそろった食事を何回していますか。(○は1つ) ※主食…お米、パン、めん類など しゅさい たまご なつとう 主菜…肉、魚、卵、納豆などのおかず しゅさい ふくさい 副菜…野菜のおかず	① 1回(給食のみ) ② 2回 ③ 3回
	(2)給食のない日には、1日で主食と主菜と副菜のそろった食事を何回していますか。(○は1つ)	① 1回 ② 2回 ③ 3回
12	給食のない日には、牛乳を1日コップ一杯以上飲みますか。(○は1つ)	① 必ず飲む ② ときどき飲む ③ 飲まない
13	あなたがふだんよく食べる間食(おやつ)はどんなものですか。(○はいくつでも) ※間食…食事以外の時間に、空腹を満たしたり、栄養を補給したりするために食べるもの全般を指します。	① あまい飲み物(ジュース等) ② スナック菓子・チョコレート菓子 ③ おせんべい・あられ・おかき等 ④ 洋菓子(ケーキ・クッキー等) ⑤ あめ・ガム・グミ ⑥ プリン・ゼリー ⑦ おにぎり・菓子パン等の主食 ⑧ くだもの ⑨ おやつは食べない ⑩ その他()
14	ふだんの体の調子についてあてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)	① 体の調子はよい ② 目が覚めてもすぐに起きられない ③ 授業に集中できない ④ 寝不足である ⑤ 疲れやすい ⑥ イライラすることが多い ⑦ 長い時間立っていることがつらい ⑧ 下痢気味である ⑨ 便秘気味である
15	ふだんの睡眠時間はどのくらいですか。(○は1つ)	① 5時間より少ない ② 5～6時間の間 ③ 6～7時間の間 ④ 7時間より多い
16	次の給食に関係している事柄から知っているものを選んでください。(○はいくつでも)	① 小金井市内でつくられた野菜が給食に使われている ② 毎月11日ははしの日である ③ 毎月24日は小金井和食の日である ④ 6月19日は食育の日である ⑤ どれも知らない
17	給食は残さず食べますか。(○は1つ)	① いつも残さず食べる ② だいたい残さず食べる ③ 残すことが多い
18	あなたはふだんからゆっくりよくかんで食べていますか。(○は1つ)	① ゆっくりよくかんで食べている ② どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている ③ どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない ④ ゆっくりよくかんで食べていない ⑤ わからない、特に意識していない

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※ 1 自己評価（対前年進捗度）について A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。） B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。） C＝縮小 D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）		※ 2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。 主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。 ） ①食育という言葉や意味を知っている ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承 ⑦食品ロス の軽減等環境に配慮した食生活の啓発	
---	--	---	--

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況			効果が期待される食育の視点 ※2							担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
4 具体的な施策の展開																		
“Koganei-Style” の地域展開 ①啓発活動の充実																		
			食育月間・食育 の日の取組	●食育行事として、歯科医師会主催の「歯と口の健康」イベントにおいて、第4次食育計画のちらしを374枚配布した。 ●食育行事として、栄養室前にペットボトル飲料に含まれる砂糖量モデルを掲示	歯と口の健康では、展示会場と口腔がん検診会場の2か所での配布だったので多くの方に配布することができた。食育月間の保健センター内での展示は今後も続けていきたい。	B	●食育行事として、小金井歯科医師会主催の「歯と口の健康」イベントにおいて、第4次食育推進計画のちらしを466枚配布した。 ●食育行事として、栄養室前にペットボトル飲料に含まれる砂糖量モデルを掲示	歯と口の健康では、展示会場と口腔がん検診会場の2か所での配布だったので多くの方に配布することができた。 食育月間の保健センター内での展示は今後も続けていきたい。	B	◎				○	○		健康課	
				●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。 配信者数：1397名	令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。	B	●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。 配信者数：1403名	令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になった。今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう工夫していきたい。	B	○	○	○	◎	○	○		こども家庭センター	
		1		食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市14P・市立保育園、小中学校等で食育の啓発活動を行う。	小金井市立小中学校全校での食育の日の取組 ① 毎月11日は「お箸の日」 箸を使ったメニューを提供し、マナーや持ち方等学ぶ機会を作っている。 ②毎月24日は「小金井和食の日」 和食献立を提供し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている ③小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した献立を取り入れた。 手作りルバーブジャム・ルバーブといちごのジャム・ルバーブマドレーヌ・ルバーブチキン、鶏のからあげルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブクランブル・ルバーブチーズケーキ・ルバーブマフィン・ルバーブとブルーベリーのマフィン・鶏肉のルバーブソース焼き 小金井市立小中学校各校での食育月間の取組 ①地場野菜を使ったメニューの提供 ルバーブ・小松菜・きゅうり・玉ねぎ・大根・トマト・なす・人参・にんにく・じゃがいも、こまつな・キャベツ・いんげん・とうもろこし・ズッキーニ・ピーマン・甘長唐辛子・はちみつ ②季節・行事にちなんだ料理の提供・読書週間・歯と口の健康週間・図書コロボ給食・郷土料理・SDGs・セレクト給食	今後も継続していく。	A	小金井市立小中学校全校での食育の日の取組 ① 毎月11日は「お箸の日」 箸を使ったメニューを提供し、マナーや持ち方等学ぶ機会を作っている。 ②毎月24日は「小金井和食の日」 和食献立を提供し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている。 ③小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した献立を取り入れた。 ルバーブチキン・ルバーブマドレーヌ・ルバーブクランブル・手作りルバーブジャム・かりっと揚げ魚のルバーブしょうゆかけ、ルバーブチーズケーキ・鶏肉のルバーブソース ストロベリーとルバーブのジャム、鶏の唐揚げルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブとブルーベリーのマフィン 小金井市立小中学校各校での食育月間の取組 ①地場野菜を使ったメニューの提供 ルバーブ・小松菜・きゅうり・玉ねぎ・トマト 大根・なす・人参・にんにく・じゃがいも・キャベツ・いんげん・とうもろこし・ピーマン おかわかめ・甘長唐辛子・バジル・はちみつ ②季節・行事にちなんだ料理の提供・読書週間・歯と口の健康週間・図書コロボ給食・世界の料理・SDGs・セレクト給食	今後も継続していく。	A	◎	○	○	○		○		学務課

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について

A=充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）

B=前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）

C=縮小

D=未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主管課として一番期待するものに「◎」を付けてください。）

①食育という言葉や意味を知っている

②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発

③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発

④バランスのとれた食事をする等栄養バ

⑤野菜は一日350g摂取を目標とする

⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・

⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

[illegible]

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
C＝縮小
D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。）
①食育という言葉や意味を知っている
②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況			効果が期待される食育の視点 ※2							担当課		
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
4 具体的な施策の展開 “Koganei-Style”の地域展開																①啓発活動の充実				
2	34	2	小金井らしい食生活の推進	乳幼児から高齢者までを対象にした講座の開催等を通じて、野菜を中心とした栄養バランスの良い食生活を推進する。	栄養講習会（42人）、フォローアップ教室（59人）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降は、試食も行った。	令和5年度は栄養講習会は、講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降、試食や実習を再開。6回のうち1回は、申込が少なかつたうえ、全員感染症でお休みしたため、当日中止となり、実施は5回のみ。	B	栄養講習会（62人）、フォローアップ教室（93人）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義、質疑応答、試食、内容によってはデモンストレーションや調理実習を行った。	令和6年度の栄養講習会は、講義・デモンストレーション・質疑応答・試食や内容によっては調理実習を行った。アンケートをもとにテーマについての見直しを行いたい。	B	○	○	○	◎	○	○	○	健康課		
					離乳食教室（417名）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義、デモンストレーション、質疑応答と6月以降は、試食も行った。	令和5年度は予定された事業は全て実施。令和5年度から離乳食完了食を開始した。令和6年度より1回食は乳児健診の集団教育のほうで実施する予定である。令和6年度より資格がこども家庭センター母子保健係になる。	B	離乳食教室（248名）等でバランスのよい食生活の啓発を行った。すべての形態で講義・質疑応答を行い、2・3回食ではデモンストレーション・試食も行った。	令和6年度予定された事業は全て実施。令和6年度より資格がこども家庭センター母子保健係になり、1回食は乳児健診の集団教育で実施した。2・3・完了食については健診とは独立した形で教室を実施しているため、広報を工夫し集客を図っていきたい。	B	○	○	○	◎	○	○	○	こども家庭センター		
3	34	3	農業祭等での啓発活動	農業祭等で食育に関するブースを作る等、啓発活動を行う。	農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業祭り」を開催した。 ■農業祭 開催日：令和5年11月11日、12日 会 場：小金井 喜地家郷ホール他 出品数：936点（令和4年度872点） ■農業絵画コンクール 出点数：222点（前年度277点） 入賞数：31点 表彰式：令和5年11月11日 ■食育カレンダーの作成 作成数：900部 配布先：入賞者、市内公立小学校等	■農業祭 農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業祭り」を初めて開催することができた。引き続き既存の農業祭の会場に駅前再開発によりできたスペースを加えたエリアを活用し、商工会や観光まちおこし協会と連携して農・商業・観光一体でイベントを開催していく。 ■農業絵画コンクール 令和5年度においても、より多くの作品を集めるため、市内公立小学校の国工科の先生に絵画コンクールの取組みを案内した。令和6年度も引き続き案内する。 ■食育カレンダー 絵画コンクールの入賞作品と食育HPに掲載されているレシピを掲載し、食育カレンダーを作成した。令和6年度は8回目（絵画コンクールは10回目）となる。引き続き、食育HP編集委員会の協力をいただき、地場産野菜の旬のレシピを掲載できるよう取組んでいく。	A	農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業祭り」を開催した。 ■農業祭 開催日：令和6年11月8日、9日 会 場：小金井 喜地家郷ホール他 出品数：953点（令和5年度936点） ■農業絵画コンクール 出点数：224点（前年度222点） 入賞数：31点 表彰式：令和6年11月8日 ■食育カレンダーの作成 作成数：900部 配布先：入賞者、市内公立小学校等	■農業祭 農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業祭り」を開催することができた。引き続き既存の農業祭の会場に駅前再開発によりできたスペースを加えたエリアを活用し、商工会や観光まちおこし協会と連携して農・商業・観光一体でイベントを開催していく。 ■農業絵画コンクール 令和6年度においても、より多くの作品を集めるため、市内公立小学校の国工科の先生に絵画コンクールの取組みを案内した。令和7年度も引き続き案内する。 ■食育カレンダー 絵画コンクールの入賞作品と食育HPに掲載されているレシピを掲載し、食育カレンダーを作成してきた。令和7年度は9回目（絵画コンクールは11回目）となる。引き続き、食育HP編集委員会の協力をいただき、地場産野菜の旬のレシピを掲載できるよう取組んでいく。	B						◎	経済課			
					・令和5年11月11日（土）農業祭にて第4次食育推進計画のちらし、食育HPのちらし、てくてくマップを400部配布した。	今後も継続したい。	B	令和6年度廃止。	健康課主導の他事業で確実に配布できるようになったため廃止。	D									健康課	
4		4	資源循環（エコベジタブル）教室の推進	土作り、種まき、野菜の収穫、野菜くずを出さない環境に配慮した料理までの一連の流れを実際に体験し、循環型社会について学ぶ。	1回目 9/12 参加者5名 夏野菜の収穫体験・土作り 2回目 9/21 参加者3名 種まき 3回目 11/16 参加者7名 収穫（小松菜・かぶ・サンチュ）	夏野菜の収穫体験と土づくりから野菜の収穫までを行った。収穫した野菜一つ一つについて、簡単に無駄の出ない調理法を説明し、食資源についての学習機会を設けた。 一定期間が必要な事業であるため、植え付けや収穫が悪い時期と重なり、熱中症対策を検討する必要がある。	B	1回目 9/12 参加者7名 夏野菜の収穫体験・土作り 2回目 9/19 参加者6名 種まき 3回目 11/26 参加者7名 収穫（小松菜・大根・サンチュ・いちご）	全3回を通し、夏野菜の収穫体験と土づくりから野菜の収穫までを行った。収穫した野菜一つ一つについて、簡単に無駄の出ない調理法を説明し、食資源についての学習機会を設けた。体験場所である学芸大学農場の活用できる範囲が縮小したことから、収穫体験の継続が困難となった。よって、令和7年度からは本事業は取りやめとする。	B								◎	ごみ対策課	
5		5	夏休み生ごみ投入リサイクル事業	夏休み期間中、家庭から出た生ごみを小中学校に設置されたごみ処理機に投入することができる。希望者にはリサイクル増肥を配布する。	実施校 8校 （一小、四小、前原小、緑小、南小、一中、二中、南中）	ボランティアの高齢化及び生ごみの資源化ルートの見直し検討に伴い、今後の運営方法や事業規模について関係者等と調整する必要がある。	B	実施校 7校 （一小、四小、前原小、南小、一中、二中、南中）	小・中学校の給食生ごみの処理方法の変更に伴い、生ごみ乾燥処理機が撤去されるため、令和7年度から本事業は取りやめとする。	B									◎	ごみ対策課

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について

A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）

B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）

C＝縮小

D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主管理として一番期待するものに「◎」を付けてください。）

①食育という言葉や意味を知っている

②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発

③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発

④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発

⑤野菜は一日350g摂取を目標とする

⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承

⑦食品ロス の軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況			効果が期待される食育の視点 ※2							担当課	
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
4 具体的な施策の展開																①啓発活動の充実			
“Koganei-Style” の地域展開																			
6		6	食品リサイクル堆肥	市立小中学校・保育園、障がい者センター、集合住宅に設置した大型生ごみ処理機及び各家庭で使用している生ごみ処理機から生成される生ごみ乾燥物を回収し、食品リサイクル堆肥を製造、市民及び市内農家等へ配布する。	市施設、市民、戸別・拠点、集合住宅の投入量合計（生ごみ換算） 235,510kg 市民・農家への堆肥配布（随時）及び資源循環事業での使用（収穫体験計5回、資源循環教室：全3回）	食品リサイクル堆肥を市民と市内農家に配布し、それを活用することで食資源の循環を体験してもらった。 また、市民や大型生ごみ処理機の利用者に向けた収穫体験や資源循環教室で食品リサイクル堆肥を活用し、ごみの減量や食資源への理解を深めた。	B	市施設、市民、戸別・拠点、集合住宅の投入量合計（生ごみ換算） 187,620kg 市民・農家への堆肥配布（随時）及び資源循環事業での使用（収穫体験1回、資源循環教室：全3回）	食品リサイクル堆肥を市内農家や市民に配布し、それを活用してもらうことで食資源の循環を体験してもらった。 また、市民や大型生ごみ処理機の利用者に向けた収穫体験や資源循環教室で食品リサイクル堆肥を活用し、ごみの減量や食資源への理解を深めた。 なお、令和7年度から資源循環事業（収穫体験）は、継続が困難なため取りやめとなる。	B							◎	ごみ対策課	
7	34	7	フードドライブ	家庭で余っている食品を拠点回収し、NPO団体及び社会福祉協議会を通じ、福祉施設等に届けるとともに、食品ロスを削減する。	実施回：12回 参加人数：延べ203人 食品回収量：892.17kg	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内循環を図っている。 今後も利用者拡大を目指し周知啓発に努め継続実施していく。	B	実施回：12回 参加人数：延べ151人 食品回収量：678.31kg	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内循環を図っている。 今後も利用者拡大を目指し周知啓発に努め継続実施していく。	B								◎	ごみ対策課
8		8	食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度	食品ロスと食べ残しの削減に積極的に取り組んでいる飲食店等を食品ロス削減推進協力店（または協力事業所）として認定し、市民に制度について周知することで、食品ロス削減の重要性についての理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携協力をして食品ロスの削減に向けた取組を促進する。	認定店23件	昨年よりも7件増の23件となり、市内飲食店にも少しずつ食品ロス削減推進への協力体制が整い始めているように感じている。残りの課題は、小金井カメラすけへの出品が依然として少ないため、店舗側への出品促進も促していきたい。	B	認定店25店舗	昨年度より3店舗増となり、そのうち2店舗が小金井カメラすけについても登録を行い、市内の食品ロス削減に貢献いただいた。市目Pのリニューアルや6月の環境月間・10月の食品ロス削減推進月間に際し、市公式SNSを活用した周知啓発を促進した。引き続き小金井カメラすけ出品店舗も含め、食品ロス削減推進協力店の増加を促進していきたい。	A								◎	ごみ対策課
9		9	食品ロス削減月間の取組	食品ロス削減月間（10月）に、日常生活の中で無理なく実践できる食品ロスの削減に向けた取組の一つとして「すぐに食べる物を購入する場合は、手前に置いてあるもの（期限が近い物）から取る」ことを消費者である市民に促したり、ポスターの掲示などを行い、食品ロスを削減すると同時に食品ロスは身近で発生しているということを意識づけ、食資源を大切にすることを啓発する。	市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 1回 (6月の環境月間に開催)	POPの掲示場所が冷蔵コーナーであることから、令和5年度は6月の環境月間にラミネート加工したPOPを配布したところ、6月以降も活用していた。令和6年度は別デザインのPOPも改めて作製し、6月の環境月間と10月の食品ロス削減月間でそれぞれ活用していただけるようにしたい。	B	市内セブンイレブン全店へのてまえどりPOPの掲出 2回 (6月環境月間・10月食品ロス削減推進月間に開催) 小金井カメラすけ利用促進ポスター作製・掲出 (10月中に小金井カメラすけ導入店舗への出品促進依頼、11月～12月「 nonowa武蔵小金井 nonowaロープ」及び「宮地楽器ホール」でのポスター掲出) 小金井カメラすけ導入店舗 13店舗 (3店舗増加) 小金井カメラすけ利用ユーザー数 1,129名 (406名増)	令和6年度は別デザインのPOPも作製し、6月の環境月間と10月の食品ロス削減月間でそれぞれ活用していただいた。 10月食品ロス削減推進月間に合わせ、小金井カメラすけ利用者の拡大及び出品店舗の拡大を目指し、事業者向けには、市内の飲食店を回り、食品ロス削減推進協力店及び小金井カメラすけ導入店舗の拡大を推進し、ユーザー向けには「小金井カメラすけ利用促進ポスター」を作製及び掲出し、利用者の増加を図った。 継続して利用者の拡大を促進していきたい。	A								◎	ごみ対策課

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
C＝縮小
D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主管理として一番期待するものに「◎」を付けてください。）
①食育という言葉や意味を知っている
②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課							
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦								
4 具体的な施策の展開																										
“Koganei-Style”の地域展開																			①啓発活動の充実							
“Koganei-Style”の地域展開																			②情報の整備							
10	35	1	食育市民アンケート調査	市民の食育の実態を把握するため、本計画終了前年度にアンケート調査を実施する。	市民アンケート調査は策定の前年に行うため、実施なし	次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなったらアンケート項目などを指標と合わせていきたい。		令和7年度にアンケート作成・実施予定のため、令和6年度第4回食育推進会議にてアンケート項目の見直しに着手した。	令和7年度にアンケート作成・実施予定のため、指標と照らし合わせながらアンケート項目の検討を行う。	B	◎	○	○	○	○	○	○	健康課								
11	35	2	食育ホームページ	市民ボランティアによる編集委員会を開催し、地域の食育及び食生活に関する情報を幅広く提供する。	市内小中学校との相互リンク誘致 小学校9校 中学校4校 HPの新らしやレシビの追加掲載。新たに食品クイズを掲載。健康課では、新規の記事をできる範囲でツイッターに掲載。さらに多くの市民の方に周知するため、健康課事業、成人式に加え、公民館5館、経済課窓口、JA、都民農園、小金井市観光まちおこし協会（駅敷地内等）等で食育HPのちらしを配布した。会議は、webと保健センターで行われた。	食育ホームページ編集委員会と協力し、市内の食育活動を中心に情報提供を継続して行う。	A	会議は、月に1回開催し、毎月のレシビや食品クイズをの掲載について議論した。掲載した記事を健康課のX（旧Twitter）に引用し周知を行った。加えて、健康課事業、成人式、苗と口の健康イベント、公民館、経済課窓口、JA、都民農園で食育HPのちらしを配布した。市内小中学校ホームページと食育HPとの相互リンク誘致：小学校9校 中学校4校	食育ホームページ編集委員会と協力し、市内の食育活動を中心に継続して情報提供を行う。	B	○	○	○	◎	○	○	○	健康課								
12	35	3	食育ホームページ	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	市報に掲載する食育事業や、各児童館の食育イベントを紹介した。	今後も市報や市ホームページと同様に事業の掲載を継続したい。	A	市報に掲載する食育事業や、各児童館の食育イベントを紹介した。	今後も市報や市ホームページと同様に事業の掲載を継続したい。	B	○	○	○	◎	○	○	○	健康課								
13	35	4	地場野菜等の情報提供	地場野菜等の種類・発売時期・発売場所等の情報を食育ホームページ等で提供する。	■庭先直売所マップ 庭先直売所マップホームページ掲載 市報6月1日号に掲載 食育HPに地図のみ掲載 わたしの便利帳に掲載	市報等への掲載及び令和3年度に作成した庭先直売所マップのホームページへの掲載により広く市民への周知に努めた。令和6年度以降についても、庭先直売所の情報を収集しながら、市報・HP等への掲載を継続していく。	B	■庭先直売所マップ 庭先直売所マップホームページ掲載 市報6月1日号に掲載 食育HPに地図のみ掲載 わたしの便利帳に掲載	市報等への掲載及び令和3年度に作成した庭先直売所マップのホームページへの掲載により広く市民への周知に努めた。令和7年度以降についても、庭先直売所の情報を収集しながら、市報・HP等への掲載を継続していく。	B						◎		経済課								
					季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の農業カレンダーの編集にも協力した。	関係機関と連携を図りながら、充実した情報提供の場となるよう継続して実施する。	A	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の農業カレンダーの編集にも協力した。	関係機関と連携を図りながら、充実した情報提供の場となるよう食育HPでの周知を継続して実施する。	B				○		◎	○	健康課								

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について

A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）

B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）

C＝縮小

D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。）

①食育という言葉や意味を知っている

②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発

③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発

④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発

⑤野菜は一日350g摂取を目標とする

⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承

⑦食品ロス軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課			
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
4 具体的な施策の展開																						
“Koganei-Style”の地域展開															①啓発活動の充実							
“Koganei-Style”の地域展開															③各種団体等の食育推進に対する促進策							
14	35	1	食育ホームページの活用	各種食育活動や食育コーディネーター実績の紹介等、情報発信を行う。	小金井市食育ホームページ内で地域の食育活動や野菜のレシピ(食べ方がわかりづらい珍しい野菜も含む)の紹介等、食に関する情報を掲載している。令和5年度より栄養量も掲載。	多くの方に、小金井市食育ホームページを認知してもらえる様、チラシも健康課での配布だけでなく、市内数か所に置いてもらい、周知していくとともに、さまざまな視点で「食」について伝えられるよう、引き続き充実を図る。	A	小金井市食育ホームページ内で地域の食育活動や野菜のレシピ(食べ方がわかりづらい珍しい野菜も含む)の紹介等、食に関する情報を掲載している。		多くの方に、小金井市食育ホームページを認知してもらえる様、チラシも健康課での配布だけではなく、市内数か所に置いてもらい、周知していくとともに、さまざまな視点で「食」について伝えられるよう、引き続き充実を図る。	B	○	○	○	◎	○	○	○	健康課			
15	35	2	食育関連の人材の活用	市内の食育関連の人材を活用して市民協働による食育の推進を行い、関係機関の連携を図る。	農業カレンダーの記事について協力をいただいた。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図れるよう引き続き努めていく	A	農業カレンダーの記事について協力をいただいた。		今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図れるよう引き続き努めていく。	B	○	○	○	◎	○	○	○	健康課			
16	35	3	親子農業体験の促進	生産体験の機会促進に向け、農業経営者クラブが実施する「親子農業体験」の周知を図る。	■親子収穫体験（キャベツとブロッコリーの収穫体験） 対 象：親子 参加数 17組（53人）参加 開 場：関野町の畑	キャベツとブロッコリーの収穫体験を通じて、親子で農業に親しんでいたいただける機会を提供できた。 令和6年度以降も継続して実施していく。	B	■親子収穫体験 ①地場産野菜の試食会ややさしいカードゲームの体験会 対 象：親子 参加数 9組（25人）参加 開 場：東町の畑 ②冬野菜の収穫体験と野菜・いちごの試食会 対 象：親子 参加数 10組（29人）参加 開 場：緑町の畑		令和6年度は2回の収穫体験を通じて、親子で農業に親しんでいたいただける機会を提供できた。 令和7年度以降も継続して実施していく。	A						◎		経済課			
17	35	4	学童収穫体験の促進	生産体験の機会促進に向け、農業振興連合会が実施する「学童収穫体験」への支援を行う。	■ジャガイモ等の学童収穫体験 対 象：市内公立小学校9校 もくせい教室 期 間：令和5年6月から11月まで 参加数：1,822人	新型コロナウイルス感染拡大以降、極力生徒が密集しないよう学年・クラスを分散させる対応により、通常より時間を要し、農家による説明も複数回に渡る等、協力農家への負担が増大している。 また、ジャガイモの収穫は6月下旬頃が最適な収穫時期となっており、学校行事等の関係もあり、6月中旬頃までに収穫体験を完了させたい学校も多くあり、日程調整は今後も課題である。	B	■ジャガイモ等の学童収穫体験 対 象：市内公立小学校9校 もくせい教室 期 間：令和6年6月から11月まで 参加数：1,693人		ジャガイモの収穫は6月下旬頃が最適な収穫時期となっており、学校行事等の関係もあり、6月中旬頃までに収穫体験を完了させたい学校も多くあり、日程調整は今後も課題である。	B							◎		経済課		
18	35	5	地場野菜等の販売推進	新鮮で安全な地場野菜等の販売促進を目指して、底先直売所の周知や、生産者、JA、事業者等の連携を推進する。	■底先直売所マップ 市報や食育HP等でPRを実施 ■JAフーマーズ・マーケットの後援 春の園芸市や年末年始の地場産農産物の販売に係るイベントを後援した。 ■学校給食 地場産農産物の積極的導入を図るため、学務課、経済課、栄養士、JAで学校給食会議を開催した。	より多くの地場産農産物を導入していける仕組みとして、市内地場産農産物を購入した市内公立小・中学校に対して、補助金を支給した。 野菜の規格について、共通の認識がもてるよう、目合わせ会等を開催していく。	A	■底先直売所マップ 市報や食育HP等でPRを実施 ■JAフーマーズ・マーケットの後援 春の園芸市や年末年始の地場産農産物の販売に係るイベントを後援した。 ■学校給食 より多くの地場産農産物を導入していける仕組みとして、市内地場産農産物を購入した市内公立小・中学校に対して、補助金を支給した。		より多くの地場産農産物を導入している仕組みとして、市内地場産農産物を購入した市内公立小・中学校に対して、補助金の支給した。 野菜の規格について、共通の認識がもてるよう、目合わせ会等を開催していく。	B							◎		経済課		
					栄養事業等での周知や夏休みの栄養講習会(学務課との合同事業)で地場野菜について講義がふれた。	今後も事業等で地場野菜について機会があれば触れていきたい。	B	栄養事業等での周知や夏休みの栄養講習会(学務課との合同事業)の講義で地場野菜についてふれた。		今後も事業等で地場野菜について触れていきたい。	B								◎		健康課	

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について

A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）

B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）

C＝縮小

D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。）

①食育という言葉や意味を知っている

②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発

③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発

④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発

⑤野菜は一日350g摂取を目標とする

⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承

⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課							
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦								
4 具体的な施策の展開																										
“Koganei-Style”の地域展開																			①啓発活動の充実							
19	36	6	料理講習会	地産地消を推進するため、農業経営者クラブと連携し、地場産野菜を利用した料理教室を実施する。	■一日生活教室 野菜を丸ごと使いさそう 対 象：市民 参加者：15名 場 所：小金井ファーマーズ・マーケット調理室 内 容：地場産野菜を使ったピクルス、いなりずし、豚汁、お団子 講 師：東京むさし農業協同組合小金井地区女性部	令和6年度以降も継続して実施していく。	A	■一日生活教室 夏野菜を取り入れましよう 対 象：市民 参加者：16名 場 所：小金井ファーマーズ・マーケット調理室 内 容：地場産野菜を使った夏野菜のとりみ炒め、ゴーヤの味噌レモン和え、すいとん、ヨーグルトのルバーブジャム添え 講 師：東京むさし農業協同組合小金井地区女性部		令和7年度以降も継続して実施していく。	B							◎	経済課							
20	36	7	新たな特産物の普及促進	JAなどと連携し、ルバーブなど新たに特産化の可能性がある農産物の情報を生産者へ提供する。	■地場産野菜を使用した料理教室 対 象：市民 講 師：東京むさし農業協同組合小金井地区女性部 参加者：15人 献 立：地場産野菜を使ったピクルス、いなりずし、豚汁、お団子 ■学校給食 各小・中学校で手作りルバーブジャム・ルバーブといちごのジャム・ルバーブマドレーヌ・ルバーブチキン・鶏のからあげルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブクランブル・ルバーブチーズケーキ・ルバーブマフィン・ルバーブとブルーベリーのマフィン・鶏肉のルバーブソース焼きを提供。	ルバーブの取組みについては進められているが、ルバーブ以外の特産化の取組みはできていない。	B	■地場産野菜を使用した料理教室 対 象：市民 講 師：東京むさし農業協同組合小金井地区女性部 参加者：16人 献 立：地場産野菜を使った夏野菜のとりみ炒め、ゴーヤの味噌レモン和え、すいとん、ヨーグルトのルバーブジャム添え ■学校給食 各小・中学校でルバーブチキン・ルバーブマドレーヌ・ルバーブクランブル・手作りルバーブジャム・かりっと揚げ魚のルバーブしょうゆかけ・ルバーブチーズケーキ・鶏肉のルバーブソース ストロベリーとルバーブのジャム・鶏の唐揚げルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブとブルーベリーのマフィンを提供。		取組みについては進められているが、気候変動の影響等によりルバーブを生産する農家も減ってきている。ルバーブ以外の特産化の取組みはできていない。	B							◎	経済課							
21	36	8	生産者との交流促進	生産者との交流や生産体験の機会として、農地等の見学会を行う。	■農家交流会 対 象：市民 参加数：32人参加 場 場：貫井南町の畑2箇所	市民を対象に募集し、2箇所の農地で収穫体験終了後、参加者と農家の意見交換会を実施した。 生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける機会となった。 令和6年度以降も引き続き継続していく。	B	■農家交流会 対 象：市民参加 参加数：10人参加 場 場：貫井南町の畑		市民を対象に募集し、収穫体験実施後、参加者と農家の意見交換会を実施した。 生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける機会となった。 令和7年度以降も引き続き継続していく。	B							◎	経済課							
22	36	9	野菜収穫体験	食品リサイクル堆肥を使って育てた野菜の収穫体験を行う。	■市民向けに収穫体験を実施 全1回 さつまいも収穫体験（参加者：14名） ■公務員宿舎に設置された生ごみ処理機利用者、家庭用生ごみ処理機から出る生ごみ乾燥物の戸別回収を実施している世帯及び土曜生ごみ投入参加者を対象に収穫体験を実施 全4回 ジャがいも収穫体験（参加者：①10名②3名③3名④4名）	市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せて行うことで、ごみの減量及び資源循環への理解が深まった。 生ごみ処理機を利用されている方向けの収穫体験では、普段からごみ減量への意識が高く、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。	B	市民向け及び公務員宿舎に設置された生ごみ処理機利用者、家庭用生ごみ処理機から出る生ごみ乾燥物の戸別回収を実施している世帯及び土曜生ごみ投入参加者を対象に収穫体験を実施 全1回 ジャがいも収穫体験（参加者：7名）		市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せて行うことで、ごみの減量及び資源循環への理解が深まった。普段からごみ減量への意識が高く、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。体験場所である学芸大学農場の借用できる範囲が縮小したことから、収穫体験の継続が困難となった。よって、令和7年度からは本事業は取りやめとする。	C							◎	ごみ対策課							
23	36	10	保育園出張講座	公立保育園の園児を対象に資源循環の紙芝居と食品リサイクル堆肥を使ったプランター野菜の収穫体験を行う。	12月～1月にかけて、市内公立保育園全5園を回り、資源循環教室の一環として、野菜の収穫体験及び食品リサイクル講話による環境学習を実施。 収穫のある園：小松菜の収穫 収穫のない園：ビオラの植え付け	保育園の園児向けにストーリーを考案し、食品の資源循環に関する環境学習を実施し、興味を持って参加してもらえた。今後も継続して事業を実施していきたい。	A				D								ごみ対策課							

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C＝縮小
 D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。**主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。**）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況			効果が期待される食育の視点 ※2							担当課	
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
4 具体的な施策の展開 “Koganei-Style”の地域展開 ①啓発活動の充実												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進 ア保健センター												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
24	37	1	マタニティクッキング	妊婦とそのパートナー等に妊娠期における栄養の摂り方等の講義・実習・試食を行う。														こども家庭センター	
25	37	2	両親学級	妊婦とそのパートナー等に各種講義を行う中で栄養講義を行う。	実施回数：16回（平日、土曜日ともプログラムに栄養が入る。） 参加者数：妊婦300人、パートナー289人（コロナ以前と同様平日、土曜日ともパートナーとの参加が可となった。）	今後も受講者が毎回ほぼ定員数で集客できそうである。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。	A	実施回数：16回（平日、土曜日ともプログラムに栄養が入る。） 参加者数：平日コース4回78人、土曜日コース12回499人	今後も受講者が毎回ほぼ定員数で集客できそうである。令和7年度も参加者アンケート回答より内容の向上を図っていく。	B		○		◎	○			こども家庭センター	
26	37	3	離乳食教室	生後4～5、6～7、8～11か月児と対象を分け、それぞれの保護者を対象に離乳食の講義、試食を行う。ただし、4～5か月については、集団健診内で行うこともある。	離乳食教室（1回食） 参加者数182人 実施回数：12回 参加者数：100人 離乳食教室（3回食） 実施回数：12回 参加者数：96人 離乳食教室（完了食） 実施回数：8回（同日に2回） 参加者数：39人	定員は10人だが、令和5年6月よりパートナーや祖父母の付き添いも可能とした。同時期に試食も開始した。完了食については、講義と質疑応答を半々の時間で行い、試食はなしである。この時期は対象者が保育園の通園で減ことも大きい。が、ニーズがあると思うので、広報も工夫していきたい。令和6年度より1回食を乳児健診の集団教育のほうで実施する予定である。1回食では、1か月20人が対象となるが、健診の場合は、参加者のほとんどに話をするのでできるので参加者数は、ひと月あたり現在の3倍くらいになる予定。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。	A	離乳食教室（1回食）→廃止※集団健診内で講義と試食を実施 離乳食教室（2回食） 実施回数：11回 参加者数：104人 離乳食教室（3回食） 実施回数：11回 参加者数：104人 離乳食教室（完了食） 実施回数：8回（同日に2回） 参加者数：40人	令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になり、1回食は乳児健診の集団教育で実施した。これまで行っていた1回食の離乳食教室では、1か月の対象者が20人であったが、令和6年度から行った健診の場合は、参加者のほとんどに話することができるので参加者数は、ひと月あたり約3倍となった。2・3・完了食については健診とは独立した形で教室を実施しているため、アンケートを参考に内容の向上に努めたい。	B		○	○	◎			こども家庭センター		
27	37	4	乳幼児食育メニュー	健康ナビ登録者から希望者に対し、メールにて食育等の情報提供を行う。	配信回数：毎月1回配信 登録者数（配信可能数）：1397人 0～1歳498人、2～3歳483人、4～5歳416人	広報は行っているが年々対象者は減ってきている。今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう工夫していきたい。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。	B	配信回数：毎月1回配信 配信者数（配信可能数）：1403人 0～1歳483人、2～3歳491人、4～5歳429人	令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になった。今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう工夫していきたい。	B	○	○	○	◎	○	○	○	こども家庭センター	
28	37	5	こどもクッキング	未就学児とその保護者を対象に、調理・試食を含む栄養教室を行う。	実施回数：4回 参加者数：44人（親子22組）	2～3歳と3～5歳という枠で募集している。調理体験を通して年少者の食べることへの関心を引き出せるよう継続していきたい。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。	B	実施回数：4回 参加者数：31人（親子15組） 唐の都合や事前キャンセルが多かったことから参加者数が微減。	令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になった。2～3歳と3～5歳という枠で募集している。調理体験を通して年少者の食べることへの関心を引き出せるよう継続していきたい。	B	○	○	○	◎	○	○	○	こども家庭センター	
29	37	6	乳幼児保健相談（のびのび広場相談）	乳幼児を対象に、地域センター等で計測を行い、希望者に保健師・管理栄養士等が相談を行う。	実施回数：65回 実施者数：376人 実施場所：貫井南センター、東センター、婦人会館、上水会館、丸山台集会施設、保健センター	令和5年5月8日からはコロナ以前と同様、予約なしになった。健診以外の場でも案内をしている。令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になる。	A	実施回数：69回 実施者数：445人 実施場所：貫井南センター、東センター、婦人会館、上水会館、丸山台集会施設、保健センター、前原暫定集会施設	令和6年度より管轄がこども家庭センター母子保健係になった。健診以外の場でも案内をしている。	B	○	○	○	◎				こども家庭センター	
30	37	7	栄養個別相談	管理栄養士によるアレルギー・食や子どもの食事相談を行う。	実施回数：7回 実施者数：11人 実施場所：保健センター	個別相談は、コロナの流行も一段落したので少し増えた。電話対応は、62件あった。昨年より減ったが、実際の事業（のびのび相談等）に足を運ぶ方が増えたからだと思う。	B	実施回数：8回 実施者数：8人 実施場所：保健センター	個別相談が昨年より減ったのは、のびのび相談等に足を運ぶ方が増えたためだと考えられる。電話対応は、42件あった。電話相談や児童館への相談者に個別相談の案内を行って内容の向上に努めたい。	B	○	○	○	◎			健康課		
31	37	8	エンジェル教室	5か月児とその保護者を対象とした育児知識等の各種講習の中で、離乳食の講義・試食を行う。	実施回数：12回（2日間コースの内1日） 参加者数（延数）：大人152人子ども145人 子どもの口の発達に見合った離乳食の形状や食べさせ方を知ることにより、負担なく離乳食を進められることを目指した。	すりつぶしの体験を取り入れたことで、栄養士や参加者同士が交流し、離乳食に対する不安の軽減につながった。離乳食を始めている方も多いので、すりつぶしの食材を増やしながら、引き続き離乳食づくりの負担軽減につなげる。	B	実施回数：12回（2日間コースの内1日） 参加者数（延数）：大人223人子ども191人 子どもの口の発達に見合った離乳食の形状や食べさせ方を知ることにより、負担なく離乳食を進められることを目指した。	すりつぶしの体験を取り入れたことで、栄養士や参加者同士が交流し、離乳食に対する不安の軽減につながった。離乳食を始めている方も多いので、すりつぶしの食材を増やしながら、引き続き離乳食づくりの負担軽減につなげる。	B			○	◎			こども家庭センター		

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
C＝縮小
D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主管理として一番期待するものに「◎」を付けてください。）
①食育という言葉や意味を知っている
②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課									
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦										
4 具体的な施策の展開																												
“Koganei-Style”の地域展開														①啓発活動の充実														
生涯にわたる食育推進														①乳幼児と保護者の食育推進			イ保育所・幼稚園等				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
32	38	1	年間食育計画 もとにした食育	食育計画や年間行事計画を 子どもの発達に応 じた食育事業を実施する。	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこ と、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	今後も継続して取り組んでいく。	B	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間 の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	今後も継続して取り組んでいく。	B			○	◎	○					保育課								
33	38	2	収穫体験	農業体験として園児が収穫 したイモを、調理して食べ る。	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を 給食及びクッキング保育で使用した。 収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の向上が図れた。	今後も継続して取り組んでいく。	B	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及び クッキング保育で使用した。 収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の向上が図れた。	今後も継続して取り組んでいく。	B							◎	○	保育課									
34	38	3	給食だより	給食だよりを配布・掲示す る。特に、食育月間・食育 の日の取組を行う。	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよ う情報提供を行った。	保護者が食に対して興味を持てるよう、 今後もさらに内容を充実していく。	B	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提 供を行った。	保護者が食に対して興味を持てるよう、 今後もさらに内容を充実していく。	B			○	○	◎				保育課									
35	38	4	クッキング保育	園児がクッキング体験をし、 食の知識やその大切さ を学ぶ。	公立保育園5園で園児の調理保育を実施した。食の知識だけでなく、調理過程や器具の使い 方等を伝えることができた。	今後も継続して取り組む。	B	公立保育園5園で園児の調理保育を実施した。食の知識だけでなく、調理過程や器具の使い方を伝 えることができた。	今後も継続して取り組む。	B			○	◎	○				保育課									
36	38	5	食物アレルギー 等の個別相談	必要に応じて保護者と個別 に相談し、給食に反映させ る。	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表 に基づいた対応で給食に反映させた。	今後も保護者と連携を密にとり、対応し ていく。	B	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づい た対応で給食に反映させた。	今後も保護者と連携を密にとり、対応し ていく。	B					◎	○			保育課									
37	38	6	栄養士による出 前講座	市立保育園の栄養士が児童 館に出向き、食育相談を行 う。	児童館で職員相談を行った。（1回）	今後も継続して取り組んでいく。	B	児童館で職員相談を行った。（1回）	今後も継続して取り組んでいく。	B			◎	○	○				保育課									
38	38	7	生産者・食材料 品業者等との交 流	地域の生産者・食材料品業 者等と園児がふれあい、特 に野菜や魚の実物が見られ るよう配慮する。	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。 じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	今後も取り組みを工夫し、より充実した ものにしていく。	B	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。 じゃがいも掘り 5園（くりのみは園で栽培・収穫したものを給食の食材として利用） さつまいも掘り 5園	今後も取り組みを工夫し、より充実した ものにしていく。	B							◎	○	保育課									
39	38	8	地域向け食育活 動	離乳食、幼児食、アレル ギー食等について、地域か らも参加できる食育相談や 講習会、試食会を実施す る。	地域の子育てで中の人を対象に、園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利 用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行った。	今後も継続して取り組む。	B	地域の子育てで中の人を対象に、園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者 の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行った。	今後も継続して取り組む。	B			○		◎		○	○	保育課									
40	38	9	地域連携の推進	私立の保育所・幼稚園等と の連携を推進する。	保健センター（健康課）の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統 一できるように努めた。	保健センターの管理栄養士との連携をより 深め、保育園での活動など情報を発信 する等も検討する。学校栄養士との情報 交換を目指す。	B	保健センター（健康課）の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一でき るよう努めた。	保健センターの管理栄養士との連携をより 深め、保育園での活動など情報を発信 する等も検討する。学校栄養士との情報 交換を目指す。	B					◎				保育課									
41	38	10	家庭と協働した 食育支援	望ましい食習慣の取組がで きるよう支援する。	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材を紹介。保護者向けに展示やレシピメモ を配布し乳幼児食への理解促進に努めた。	今後も更なる内容の充実に努め、様々な 機会を活用し情報発信していく。	B	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し 乳幼児食への理解促進に努めた。	今後も更なる内容の充実に努め、様々な 機会を活用し情報発信していく。	B				◎	○				保育課									

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C＝縮小
 D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。**主眼眼として一番期待するものに「◎」を付けてください。**）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況			効果が期待される食育の視点 ※2							担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
4 具体的な施策の展開																		
“Koganei-Style”の地域展開 ①啓発活動の充実																		
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進 ウ児童館																		
42	38	1	子育て相談会	保護者に対する食事や栄養をテーマにした専門家による講演会及び相談会を行う。	【本町児童館】 離乳食講座 2回/25人 【東児童館】 離乳食講座等 5回/74人 ・離乳食講座 3回/41人 ・ばおばおミニ講座 2回/33人 【貫井南児童館】 離乳食（食育）講習会 2回/31人 【緑児童館】 離乳食講習会等 3回/24人 ・離乳食講習会 2回/18人 ・1歳児の食事講習会 1回/6人	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた調理・試食をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。 次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A	【本町児童館】 離乳食講座 2回/24人 【東児童館】 離乳食講座等 4回/53人 ・離乳食講座 3回/32人 ・ばおばおミニ講座 1回/21人 【貫井南児童館】 離乳食（食育）講習会 2回/26人 【緑児童館】 離乳食講習会等 3回/31人 ・離乳食講習会 2回/20人 ・1歳児の食事講習会 1回/11人	調理・試食をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。 次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	B			○	◎			児童青少年課	
43	38	2	乳幼児食事会	子育てひろばや幼児グループで行う食を通じての交流会（情報を交換し、食育に対する理解を深める）を行う。	【本町児童館】 幼児グループ食事会 6回/97人 【東児童館】 幼児グループ食事会等 14回/298人 ・子育てひろば会食 6回/98人 ・子育てひろば茶房 1回/10人 ・1歳児グループ食事会 2回/80人 ・幼児グループ食事会 5回/110人 【貫井南児童館】 幼児グループ調理、会食会 6回/80人 【緑児童館】 幼児グループ焼き芋、食事会 4回/55人	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた会食・調理をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。 子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。 次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A	【本町児童館】 幼児グループ食事会 4回/44人 【東児童館】 幼児グループ食事会等 36回/489人 ・子育てひろば会食 8回/121人 ・子育てひろば茶房 3回/50人 ・幼児グループ食事会 24回/291人 ・子育てセミナー 1回/27人 【貫井南児童館】 幼児グループ調理、会食会 9回/115人 【緑児童館】 幼児グループ焼き芋、食事会 5回/50人	令和5年度当初は慎重に実施していたが令和6年度は完全に会食・調理をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。 子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。 次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A			◎				児童青少年課	

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
C＝縮小
D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主管理として一番期待するものに「◎」を付けてください。）
①食育という言葉や意味を知っている
②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課			
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
4 具体的な施策の展開															①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
“Koganei-Style”の地域展開																						
①啓発活動の充実																						
生涯にわたる食育推進 ②学齢期の食育推進 ア小学校															①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
44	39	1	学校における食育の推進と情報発信	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	食に関する全体計画をもとに、社会科の農家見学や生活科や理科の野菜を育てる体験学習などを実施した。		B	食に関する全体計画をもとに、社会科の農家見学や生活科や理科の野菜を育てる体験学習及びもくせい教室における輪作体験などを実施した。		B						◎	○	指導室				
45	39	2	給食を通じた食育	栄養教諭・食育リーダーを中心に、授業や給食委員会の活動・日々の給食を通して、望ましい食習慣を身につけさせる。	食育リーダー会を開催し、食に関する全体計画の作成に向けて、各校の取組及び課題についての情報共有を行った。		B	食育リーダー会を開催し、食に関する全体計画の作成に向けて、各校の取組及び課題についての情報共有を行った。		B	○	○	○	◎	○			指導室（学務課）				
46	39	3	地域と交流した食育活動	給食日より・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者等との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。		B	地域の生産者等との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。		B		○	○	○		◎	○	学務課（指導室）				
47	39	4	家庭と協働した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食日より等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食日よりを毎月発行している。		A	小中学校全14校で給食日よりを毎月発行している。		A	○	○	○	◎		○	○	学務課				
48	39	5	栄養講習会（親子クッキング教室）	小学生とその保護者を対象に、生活習慣病予防につながるテーマについて講義・実習・試食を行う。	実施者数：親子3組（大人3人子ども3人） 予約は5組だったが、キャンセルがあった。		B	実施者数：親子9組（大人9人子ども9人） 予約はキャンセル待ちを含め14組と人気の事業で当日のキャンセルも無かった。		B				○	◎	○		健康課（学務課）				
令和6年度は3～6年生を対象で講義・調理体験・試食を行った。予約はキャンセル待ちを含め14組と人気の事業であるため、今後も継続する予定である。																						

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C＝縮小
 D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。**主管理として一番期待するものに「◎」を付けてください。**）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課									
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦											
4 具体的な施策の展開 “Koganei-Style”の地域展開															①啓発活動の充実													
生涯にわたる食育推進															②学齢期の食育推進							イ学童保育所・児童館 ウ公民館						
49	39	1	食育指導 (学童保育所)	食べることを通して、団らんの楽しさ、作ることの楽しさ、食べることの楽しさを仲間と分かち合う。	各学童保育所ごと日常のおやつとは別に月に1回は食育の日を決めて、テーマをもって食育に取り組み、食にまつわること、季節を感じることから食育、マナーまで幅広くを学んでいる。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはもちろん季節に応じた食を提供すると同時に、食育の日にはテーマをもって食を意識できるような取り組みを令和6年度も継続して実施していく。	B	各学童保育所ごと日常のおやつとは別に月に1回は食育の日を決めて、テーマをもって食育に取り組み、食にまつわること、季節を感じることから食育、マナーまで幅広くを学んでいる。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはもちろん季節に応じた食を提供すると同時に、食育の日にはテーマをもって食を意識できるような取り組みを令和7年度も継続して実施していく。	B			◎	○					児童青少年課									
50	39	2	料理教室 (児童館)	主に小学生から中・高校生までを対象として手作りを基本とした料理教室を行い、作り方を指導し、食を共にしながら相互に交流を図る。また、地場野菜等を通じた生産者との交流や環境に配慮した料理教室等を実施する。	【本町児童館】 各種料理教室等 31回/491人 ・幼児グループ手はり (4回/80人) ・低学年グループ (18回/292人) ・高学年グループ (8回/107人) ・本町アートファクトリー (1回/12人) 【東児童館】 各種料理教室等 54回/826人 ・1歳児グループ手はり (1回/34人) ・幼児グループ手はり、大根はり (4回/92人) ・低学年グループ (20回/334人) ・高学年グループ (7回/64人) ・低学年グループ手はり、大根はり (4回/65人) ・高学年グループ手はり、大根はり (2回/19人) ・わくわくキッズ (1回/22人) ・料理しよう (2回/22人) ・夏期クラブ夕食作り (1回/60人) ・中高生タイム (1回/94人) ・とまるぜ！中高生 (2回/19人) 【東井原児童館】 各種料理教室等 45回/581人 ・幼児グループ手はり (2回/24人) ・低学年グループ (10回/148人) ・高学年グループ (10回/69人) ・スペース@ヌタイ (10回/81人) ・あそぼうキッズ (幼稚園児世代対象 (3回/30人) ・エプロンキッズ (小学生対象) (8回/141人) ・地域連携野菜収穫祭 (ブローリー大作戦) (1回/76人) ・ティーンズ合宿2024 (中・高校生世代対象宿泊事業) (1回/12人) 【緑児童館】 各種料理教室等 47回/680人 ・幼児グループ手はり (2回/30人) ・幼児グループ (4回/55人) ・低学年グループ (20回/267人) ・高学年グループ(12回/185人) ・ロビンソンクラブ (3回/40人) ・お菓子作り (2回/26人) ・ロビンソンクラブ いちご摘み (1回/31人) ・夏の野外料理講習会 (1回/8人) ・夏のどや作り！～エコタッキング～ (1回/8人) ・ロビンソンクラブ・なんでも作ろう合同焼き芋大会 (1回/30人)	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた調理や喫食のある事業をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。 次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A	【本町児童館】 各種料理教室等 33回/582人 ・幼児グループ手はり (2回/32人) ・低学年グループ (17回/305人) ・高学年グループ (8回/141人) ・本町工作遊場 (1回/21人) ・本町アートファクトリー (2回/38人) ・本町キャラバン (3回/45人) 【東児童館】 各種料理教室等 68回/978人 ・1歳児グループ手はり (1回/39人) ・幼児グループ手はり、大根はり (4回/48人) ・低学年グループ (23回/437人) ・高学年グループ (15回/133人) ・低学年グループ野菜収穫、大根はり (4回/75人) ・高学年グループ手はり、大根振り (2回/17人) ・わくわくキッズ (2回/49人) ・料理しよう (2回/23人) ・やってみよう！焼き芋体験 (1回/16人) ・中高生タイム (10回/94人) ・とびだせ！中高生 (2回/16人) ・とまるぜ！中高生 (2回/31人) 【本町児童館】 各種料理教室等 33回/582人 ・幼児グループ手はり (2回/32人) ・低学年グループ (17回/305人) ・高学年グループ (8回/141人) ・本町工作遊場 (1回/21人) ・本町アートファクトリー (2回/38人) ・本町キャラバン (3回/45人) 【東児童館】 各種料理教室等 68回/978人 ・1歳児グループ手はり (1回/39人) ・幼児グループ手はり、大根はり (4回/48人) ・低学年グループ (23回/437人) ・高学年グループ (15回/133人) ・低学年グループ野菜収穫、大根はり (4回/75人) ・高学年グループ手はり、大根振り (2回/17人) ・わくわくキッズ (2回/49人) ・料理しよう (2回/23人) ・やってみよう！焼き芋体験 (1回/16人) ・中高生タイム (10回/94人) ・とびだせ！中高生 (2回/16人) ・とまるぜ！中高生 (2回/31人)	前年に引き続き、調理や喫食のある事業をコロナ禍以前の形式・規模に戻して実施した。 次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	B		◎						児童青少年課										

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C＝縮小
 D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課			
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
4 具体的な施策の展開														①啓発活動の充実	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
“Koganei-Style”の地域展開																						
生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進 ア青年期の食育推進														①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
51	40	1	学校における食育の推進と情報発信[再掲]	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する指導全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	食に関する全体計画をもとに、保健体育科の健全な心身の成長を図るための学習や家庭科の調理実習学習などを実施した。	感染防止等に配慮しながら体験学習のさらなる充実を図る。ICT端末を活用した学習についてさらに研究し、実践するよう指導する。食育の目標達成に向けて給食指導の充実に努めていきたい。	B	食に関する全体計画をもとに、保健体育科の健全な心身の成長を図るための学習や家庭科の調理実習学習などを実施した。	感染防止等に配慮しながら体験学習のさらなる充実を図る。ICT端末を活用した学習についてさらに研究し、実践するよう指導する。食育の目標達成に向けて給食指導の充実に努めていきたい。	B				○	◎	○		指導室				
52	40	2	給食を通じた食育[再掲]	栄養教諭・食育リーダーを中心に、授業や給食委員会の活動・日々の給食を通して、望ましい食習慣を身に付けさせる。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。	食育リーダー会で検討・作成したリーフレットを小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	A	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。	食育リーダー会で検討したことについて、各校や保護者、地域へ周知を図っていく。	B	○	○	○	◎				指導室（学務課）				
53	40	3	地域と交流した食育活動[再掲]	給食だより・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者等との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引き続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者等との交流については、引き続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B	地域の生産者等との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引き続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者等との交流については、引き続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B		○	○	○		○	◎	学務課（指導室）				
54	40	4	家庭と協働した食育支援[再掲]	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だより等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	○	○	○	◎		○	○	学務課				
55	40	5	ミニパンフレットによる情報発信	青年期向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、関係機関に配する。	青少年向けミニパンフレットを昨年と同じものを成人式に750部配布用として用意した。	来年度は、多摩府中保健所に制作のバランスの良い食事についてのパンフレットを配布する予定である。	B	多摩府中保健所の青少年向けミニパンフレットと小金井市食育HPのちらしをを成人式に800部配布用として用意した。	令和7年度は、多摩府中保健所に制作の「ちゃんとごはんマスタークイズ」のミニパンフレットを配布予定。	B		○		◎	○	○		健康課				

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C＝縮小
 D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。**主管理として一番期待するものに「◎」を付けてください。**）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロス の軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課		
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
4 具体的な施策の展開														①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
“Koganei-Style”の地域展開 ①啓発活動の充実																					
生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進 ④成人・高齢者の食育推進														①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
56	41	1	栄養個別相談	生活習慣病等、個人のニーズに合わせた栄養に関わる相談を行う。	実施回数：8回 実施者数：12人	国民健康保険の健診がらみやポイント事業の対象になっていることでこれらの方が多いと多かった。電話相談は5件だった。	B	実施回数：7回 実施者数：13人	国民健康保険のポイント事業の対象者が多く、電話相談は2件だった。記録方法を見直し、対象者の属性を精査して周知方法に反映していきたい。	B		○	○	◎	○			健康課			
57	41	2	栄養講習会	生活習慣病や健康づくりに関するテーマを設定し、テーマに合わせた栄養講義や調理実習を行う。	栄養講習会：4回（小学生とその保護者向けを除く）参加者数：36人	講義とデモンストレーション、質疑応答に加え、6月以降は、試食で行った。参加者の年齢や性別が偏らないように年齢や性別を区切った講習会も継続していきたい。	B	栄養講習会：4回（未就学児・小学生とその保護者向けを除く）参加者数：41人	講義とデモンストレーション、試食、内容によっては調理実習を行った。参加者の年齢や性別が偏らないように年齢や性別を区切った講習会も継続していきたい。	B		○	○	◎	○	○	○	健康課			
58	41	3	健康づくりフォローアップ指導教室	糖尿病や骨粗しょう症など、疾病や年齢に合わせた栄養講義を行うことにより、疾病の予防や健康に対する意識の啓発、生活習慣の改善を支援する。	糖尿病予防教室：13人 骨粗しょう症予防教室：5人 いきいき健康教室：6人 血管若返り教室：13人 親子健康教室：8人(大人4人子ども4人) ボディメイク教室：5人 糖尿病復習会：9人 計59人	定員をコロナ前に戻したものもあるが、なかなか以前のように集客できなかった。来年度はチラシの配布場所を増やしたい。	B	糖尿病予防教室：13人 骨粗しょう症予防教室：4人 いきいき健康教室：20人 血管若返り教室：13人 親子健康教室：21人(大人10人子ども11人) ボディメイク教室：11人 糖尿病復習会：11人 計93人	骨粗しょう症予防教室の参加者が減少しているため、予防のための取り組みが最も効果的な10代の子どもの子育て中の世代にも対象を広げて実施予定。	B		○	○	◎	○			健康課			
59	41	4	特定保健指導	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対して、特定保健指導を行うことにより、疾病の予防や健康に関する意識の啓発、生活習慣の改善を支援する。	特定保健指導対象者数 動機付け支援：524人 積極的支援：194人 特定保健指導利用者数 動機付け支援：90人 積極的支援：23人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対し、特定保健指導を行った。今後も特定保健指導の利用率が向上するよう運動教室も併用しながら利用動機を行い、管理栄養士・保健師と共に、対象者にあった食生活の見直し等を行う。	B	特定保健指導対象者数 動機付け支援：470人 積極的支援：140人 特定保健指導利用者数 動機付け支援：54人 積極的支援：10人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対し、特定保健指導を行った。今後も特定保健指導の利用率が向上するよう運動教室も併用しながら利用動機を行い、管理栄養士・保健師と共に、対象者にあった食生活の見直し等を行う。	B		○	○	◎				保険年金課			
60	41	5	成人学校	食に関する様々なテーマを取り上げた講座等を開催する。															公民館		
61	41	6	成人学校「菜園教室」	【目的】額に汗しながら土に親しみ、野菜の共同栽培を通じて作る喜びを分かち合います。また、土曜こしから収穫までを体験する。	令和5年5月10日～令和6年3月6日 原則毎週水曜日実施（全40回） 延べ参加者740人	第4次小金井市生涯学習推進計画の中の「公民館を活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けている。令和5年度は20人で34種類の野菜を育て、野菜のつくる喜びを体験した。		令和6年4月10日～令和7年3月12日 原則毎週水曜日実施（全43回） 延べ参加者892人	第4次小金井市生涯学習推進計画の中の「公民館を活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けている。令和6年度は24人で約30種類の野菜を育て、つくる喜びを体験した。	A						◎	○	公民館			

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C＝縮小
 D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。**主管課として一番期待するものに「◎」を付けてください。**）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況			効果が期待される食育の視点 ※2							担当課				
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦					
4 具体的な施策の展開 “Koganei-Style”の地域展開																①啓発活動の充実						
62	41	7	6024・8020運動の推進	生涯を通じて健康的な食生活が実践できるよう、60歳で24本以上、80歳で20本以上の歯がある方の増加を目指す。	歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施した。 数：1902人	昨年同様、20歳から80歳までの5歳刻み節目年齢の方を対象に実施した。対象年齢について検討を図りながら、今後も継続して実施する。また、今年度より成人歯科健診を実施する方のうち、75歳、80歳の対象に加え、70歳も対象に口腔機能評価を行うことにした。	B	歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施した。 受診者数：1863人	昨年同様、20歳から80歳までの5歳刻み節目年齢の方を対象に実施した。対象年齢について検討を図りながら、今後も継続して実施する。また、成人歯科健診を実施する方のうち、70歳、75歳、80歳を対象に口腔機能評価を実施した。	B					◎				健康課			
63	41	8	配食サービス	高齢者や精神障がい者の健康的な食生活と安否確認等のため食事の配達を行うことにより、自立した食生活を支援する。	精神障がい者配食サービス 配食数：5,473食	安否確認や栄養に配慮した食事を届けることについては重要であると考えため、今後も継続する。	B	精神障がい者配食サービス 配食数：5,557食	安否確認や栄養に配慮した食事を届けることについては重要であると考えため、今後も継続する。	B					◎				自立生活支援課			
					●配食サービス（食の自立支援事業）＞ ●普通配食（65歳以上で介護の要支援以上の方に週3回夕食を配る事業 配食数 延べ24,065食 利用者 延べ 266人 ●特別配食（65歳以上で介護の要支援以上の方に週4回～6回夕食を配る事業） 配食数 延べ1,122食 利用者 延べ 7人 ●緊急配食サービス（退院などの理由で1週間程度配食する事業） 配食数 延べ41食 利用者 延べ 10人	食事の用意が困難となっている高齢者を対象として、配食サービスを実施。 その他として、茶話会、栄養指導等の食関連事業も実施した。 現在、配食数については、一日当たり80食となっているが、利用者の応募が多く、受入れ体制に余裕が無い状況が続いている。配食数を増やすことが体制的に難しい面があり、利用者増に対する対応は課題となっている。	A	●配食サービス（食の自立支援事業）＞ ●普通配食（65歳以上で介護の要支援以上の方に週3回夕食を配る事業 配食数 延べ23,442食 利用者 延べ 233人 ●特別配食（65歳以上で介護の要支援以上の方に週4回～6回夕食を配る事業） 配食数 延べ 856食 利用者 延べ 5人 ●緊急配食サービス（退院などの理由で1週間程度配食する事業） 配食数 延べ 33食 利用者 延べ 7人	食事の用意が困難となっている高齢者を対象として、配食サービスを実施。 その他として、茶話会、栄養指導等の食関連事業も実施した。 現在、配食数については、一日当たり80食となっているが、利用者の応募が多く、受入れ体制に余裕が無い状況が続いている。	A				◎			介護福祉課					
新			介護予防・フレイル予防普及啓発	高齢者が介護予防の知識を得て、地域でできるだけ自立した生活が継続できるよう高齢者が参加している通いの場に保健師が出向き、介護予防・フレイル予防の知識（栄養・口腔）についての講話を行う。	●小金井さくら体操管理会場参加者に対し、高齢期の栄養のポイントについてミニ講座を実施（年1回） 参加者 151人 ●介護予防講座（年3回） 参加者 延べ 41人 ●オンライン介護予防教室において、栄養について管理栄養士の講座を実施（年2回） 参加者 延べ 18人	介護予防に関する講座等の中で、高齢期の栄養のポイントについて啓発を実施した。 令和6年度より、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が開始し、低栄養について、ハザリスタアプローチとボジュレーションを行う予定であるため、関係各課と連携し、具体的な方法等について啓発を行っている。	B	●小金井さくら体操管理会場参加者に対し、介護予防における栄養のポイントについてミニ講座を実施（年1回） 参加者 100人 ●介護予防講座（年3回） 参加者 延べ 69人 ●オンライン介護予防教室において、栄養について管理栄養士の講座を実施 参加者 継続コース 延べ 12人 ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業のボジュレーションアプローチとして、地域の通いの場参加者に対し、低栄養予防のポイントについて講話を実施 参加者 延べ 927人	介護予防に関する講座等の中で、高齢期における栄養のポイントについて啓発を実施した。 引き続き介護予防・フレイル予防のための栄養のポイントについて普及啓発を行っていく必要がある。	A		○	○	◎	○			介護福祉課				
64	41	9	ミニパンフレットによる情報発信	高齢者向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、関係機関に配する。	パンフレットは年度末に完成。誰にでも配布するものではなく、栄養相談や出前事業に使用できるものにした。	健康課保健師や介護福祉課のアドバイスを受けて作成した。事業で使用して改正の余地も出てくること。ミニでは読みづらいことも考慮し、大きき変更で価格が変わったことから部数を抑えた。	B	令和5年度に作成し、サイズ変更をしたものを栄養相談や出前授業で配布した。	令和6年度分の在庫を栄養相談や出前授業で配布予定。	B	○	○	○	◎	○	○		健康課				

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和6年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
A＝充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
C＝縮小
D＝未着手（該当事業に取り組まなかった。）

※2 効果が期待される食育の視点（該当するものに「○」複数回答可。主観として一番期待するものに「◎」を付けてください。）
①食育という言葉や意味を知っている
②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和5年度進捗状況			令和6年度進捗状況				効果が期待される食育の視点 ※2							担当課		
					令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)		令和6年度に実施した取組み及び 令和7年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
4 具体的な施策の展開														①啓発活動の充実							
“Koganei-Style”の地域展開																					
5 計画の推進に向けて																					
(1) 施策の推進体制																					
65	42	1	食育推進会議	食育推進会議を継続して開催し、本計画の進捗状況を検証するとともに、必要な推進策を検討する。	令和5年度は予定回数（4回）を行うことができた。	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	B	令和6年度は予定回数（4回）を行うことができた。	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	B	◎	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
66	42	2	食育コーディネータの設置	食育に関する関係機関等との連携を促進する。	令和3年度活動状況：3件 昨年に引き続き、コロナ禍を反映しているせいか、依頼が少なかった。	今後も引き続き継続していく。	C	令和6年度活動状況：4件	今後も引き続き継続していく。	B	◎	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
67	42	3	食育推進検討委員会	市の食育推進事業の円滑な推進を図るため、関係課による食育推進検討委員会を開催する。	食育推進計画の進捗状況調査について書面開催を1回実施。	来年度も同様に開催したい。	B	食育推進計画の進捗状況調査について1回実施。	今後も引き続き継続していく。	B	◎	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
68	42	4	大学等との連携推進	若年層に対する対策及び食育に関する実態等の継続的な研究推進のため、大学等との食育推進事業の連携を推進する。	令和5年度についても以前作成したものを成人式で750部配布した。	令和6年度については、令和5年度東京都多摩府中保健所主催の北多摩南部圏域栄養・食生活ネットワーク会議（保健所、学識経験者、6市健康管轄課、関係施設職員）において若者向けの栄養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	B	多摩府中保健所の青少年向けミニパンフレットと小金井市食育HPのちらしを成人式に800部配布用として用意した。	令和7年度は、多摩府中保健所にて制作の「ちゃんとごはんマスタークイズ」のミニパンフレットを配布予定。	B	○	○	○	◎	○	○	○	健康課			